

カメラ

ま ち の 出 来 事

あらかると

(平成19年12月～20年1月)

広報たかはし

広報たかはし



大盛況「ニコニコ市場」 (12月19日 元市民会館)

歳末の恒例行事となった「高梁ニコニコ市場」が開かれました。

地産地消のよさや手づくり品の温かさを再認識してもらおうと、市内の女性グループや農業者グループなどが実行委員会を組織し毎年12月に開催しており、今年で4回目。

お飾りやもちなどの正月用品、取れたての新鮮野菜、農産加工品などがずらりと並んだ会場は、お目当ての品を買い求める多くの人でにぎわいました。

市役所も迎春準備 (12月28日 市役所)

市役所玄関前にお目見えした高さ約2メートルのジャンボ門松が、来庁者の目を引いていました。この門松は、毎年、養護老人ホーム長寿園(落合町阿部)の入園者の皆さんを中心にしていただいているものです。

また、仕事納めのこの日は庁舎内の大掃除も行われ、市役所の迎春準備もすっかり整いました。



交通事故のない年末年始を (12月20日 市内大型店舗)

年末・年始の交通事故防止県民運動(12/1～1/6)に合わせ、夜間の交通事故防止などを呼びかける街頭啓発活動「夜は目立たナイトキャンペーン」(市交通安全対策協議会・高梁高校家庭クラブ主催)が行われました。

啓発活動には、交通安全協助手、交通安全母の会、国際ソロプチミスト高梁のメンバーらに加え、交通安全マスコット「無事カエル」も参加。啓発チラシや高梁高校家庭クラブ員の手づくりマスコットを買い物客に手渡し、交通安全を呼びかけました。



農作物の生産地で田舎体験 (12月9日 宇治農村公園ほか)

宇治町で「備中流グリーンツーリズムモニターツアー」(備中県民局など主催)が開かれました。これは、同県民局が兵庫県宝塚市に開設したアンテナショップの利用者に、生産地の農産物に触れてもらおうと実施したものです。

同市などから40人が参加し、豆腐づくりやそば打ち、切干大根づくりなどに挑戦。また、野菜の収穫やサトイモ掘り、落葉を集めて焼き芋づくりなどを体験し、消費者と地元生産者の交流が図られました。





万一の林野火災に備えて

(12月9日 弥高山公園周辺)

市消防団本部および川上方面隊を中心に、消防本部・消防署職員ら計153人が参加して「大規模林野火災総合訓練」が行われました。

公園内のキャンプ場から出火し、強風にあおられロッジや民家への延焼拡大の危険性があり、施設利用者が1人負傷していると想定。ポンプ車や小型ポンプを使ってホースを中継しながら火元への放水、同時に負傷者の応急手当も行い、万一の林野火災に備えて消火活動や救助活動の連携などを確認しました。

これからは、火災の発生しやすい季節になりますので、火の取り扱いには十分注意しましょう。

市民と留学生が交流

(12月8日 高梁国際ホテル)

韓国、中国、カンボジア出身の吉備国際大学留学生27人と中学生以上の市民20人が参加し、「異文化交流フェスタ2007」(市国際交流協議会主催)が行われました。

留学生の代表7人が各国の年末年始の習慣を紹介。また、参加者らは留学生の体験談や各国の文化・習慣の違いなどの話をしながら、交流を図りました。



優勝目指して

(12月16日 備中中学校体育館)

毎年恒例の「備中公民館卓球大会」が行われ、備中地域の小学生や愛好家など約120人が出場しました。

試合は、個人戦(5部門)、団体戦(2部門)で行われ、出場者らは観客の声援を受け、優勝を目指して熱戦を繰り広げていました。

夜空に映える石の風ぐるま

(12月22日～1月11日 うかん常山公園)

うかん常山公園では年末年始の午後6時から9時、石の風ぐるまがライトアップされました。

ライトの柔らかい光を受けて、夜空に重厚な石の風ぐるまの姿が浮かび上がり、「風の舞台」は昼とは違った幻想的な雰囲気にも包まれていました。

同公園では、ゴールデンウィークやお盆等にもライトアップが行われています。



100歳おめでとうございます

(1月7日 自宅<下町>)

100歳を迎えられた福田ハルエさんを市長らが訪問し、記念品や花束を贈って長寿を祝いました。長寿の秘訣は「添加物などの入った食事を摂らないように気をつけ、何事にも辛抱強く、忍耐強かったこと」だそうです。

市内で100歳以上の方は1月7日現在で27人(男性5人、女性22人)。